



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第12回例会(10月7日)
平成28年10月14日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 駒木 進
幹事 海野 尚
会報 熊谷 隆司
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョン F ジャーモ



ゲスト卓話

「さわやかな“音の風景”への誘い！」
～梵音遍満 共に生きるよろこび～

岩手県合唱連盟 名誉会長
太田代 政男様

●スピーカー紹介●

昭和20年4月生まれ、花巻市出身。岩手大学教育学部音楽科卒。平成4年4月に旧大野村教育長、平成8年4月より滝沢第二小・花巻小・見前小・山王小学校の校長を歴任
【現在】公益財団法人日本教育公務員弘済会理事(北海道・東北ブロック会長)岩手支部長、(有)ドルチェ取締役会長、岩手県合唱連盟名誉会長、岩手県婦人合唱連盟会長 他
平成24年、依頼により作曲された「東日本大震災被災者に捧げる“鎮魂の歌”」は日本エスペラント学会により世界に発信され世界各地で歌われている。平成17年12月に教育者文部科学大臣賞表彰、平成27年4月に瑞宝双光章受賞。
(平井 滋会員)

皆さん、こんにちは。錚々たる皆さんが集まる会ということで、かなり緊張しています。皆さんの顔を見ると、けっこう昔からお付き合いをしている方もたくさんいらっしゃいます。

皆さんはこんな数字をご存知ですか？38%、28%、9%、8%、7%という数字。これは、アメリカにあるシンクタンクで行った国際的な意識調査の結果です。「自立できない人を国や政府は助ける必要があるか、ないか？」という質問に「助ける必要はない」と答えたのが、38%、28%、9%、8%、7%という数字です。日本はどのへんだと思いますか？(会場から38%の声) そうなんです、ご承知のように日本は38%の人が「困っている人を助ける必要はない」と答えた。ヨーロッパの国でイギリスやフランスは8%、7%です。中国は9%、アメリカは28%。その上に、エジプトが32%。いちばん高いのが日本で38%。「必要がない」と訳していますが、「Responsibility」とありますので、「国や政府に責任があるか、ないか？」になると思います。

日本人は元々、農業をするにしても、お互いに助け合いながらやってきた国ではないですか。どんなことがあったとしても、地域の掟で村八分まで。十ではない。死んだとき、火事になったときは、みんなで助け合いましょうという道を作っていたはずですが、約4割の人が「困っている人を助ける必要はない」と答えた。分析は、いろいろ必要だと思います。皆さん、それぞれの立場の中で、使命を持ちながら人のために尽くしていると思います。私は、音楽を通して人と関わりをもって生きてきました。

「音の風景」を創るということ

きょうのタイトルは「さわやかな“音の風景”への誘い(いざな)い！」です。皆さんは「音の風景」という言葉を聞いたことがあると思います。サウンドスケープ。音楽という意味ではありません。私たちは意識するとしないとに関わらず、いろいろな音に囲まれて生活しています。

私は、花巻に生まれましたから、9月の花巻祭りのとき、お囃子が聞こえてくると、どうしようもなくなります。今年も、祭りに参加しました。今では、盛岡で暮らした年月が花巻より長いので、さんさ踊りや八幡さんのお祭りのほうがずっと付き合いが長くなりました。さんさも八幡さんのお祭りもいいと思いますが、私にとって18歳まで住んでいた花巻の祭り囃子のほうが、はるかに大きい。それは、私にとって非常に重要な意味を持っている。

地域でも職場でも、音の景観というものが必要あります。その音の景観をみると、そこに住む人たちの人間関係など、いろいろな様子がわかります。

私は平成4年に47歳で、全然知らない大野村の教育委員会の教育長をやりました。教育委員会の雰囲気は、非常に暗いわけですよ。役場には、必要がない限り、みんな行きたくない。「嫌だなあ」と思って、何とか扉を開けて「ごめんください」と言っても、役場では、みんながパソコンに向かって、知らないふりをしている。役場に行く人は、行きたくて行くのではないのだから、「みんなで『こんにちは』『いらっしゃいませ』と声を掛けよう」ということで、大野に行ったときにサウンドスケープ、音の景観づくりを提案しました。そのときに立ち上

がってくれたのが、老人クラブの方と婦人会でした。率先してやってくれた。「みんなに良い挨拶をしていこう」ということですが、それだけでも村が活性化されてきました。それと合わせて、もちろん音楽も音の風景を創る上では重要な意味合いがありました。そのときに「音って、こんなにすごい効果があるんだな」ということを改めて強く感じました。

こんな話を、私は建設関係者の安全対策のようなどころでもけっこう話します。鹿島建設さんなど、大手のところのお偉いさんは、私のような者の話でもちゃんと聞いて、あとで「音の風景づくりは参考になる。私も会社の中でそれをやってみたら、会社の雰囲気が変わりました」とか、言ってくれるんです。ある大手の会社の本社でやってみたら、それだけで会社の雰囲気が変わったとか。余計な話をすると、長くなるので、すみません。

【ぺっこだけ、おしゃべり】

資料にある【ぺっこだけ、おしゃべり】に移ります。「手のひらを太陽に」という歌があります。ちょっと歌ってみましょう。

♪ぼくらはみんな、生きている。生きているから歌うんだ♪

そうでしょう、みんな、ここで引っ掛かるんです。

♪生きているから悲しんだ♪

いちばん最初に出てくる歌詞は「悲しいんだ」ですよ。生きるなんてことは、悲しいことなんです。その次。

♪ぼくらはみんな、生きている。生きているから歌うんだ♪

生きる証として、私たちは歌います。歌うという行為は、心の中にある自分の想いを訴えることと、もうひとつは心と心を打ち合わせるといった意味があります。そういう意味で、「唇に歌を」というのは、心に太陽を持つと同じように、人間が生きる証として、とても重要なことではないかと思えます。

きょうは、もうちょっと皆さんにも歌ってもらいます。音の力について話すと、もっと長くなってしまいますので、止めます。

資料「イーハトーヴの空から見える音風景！」というところの最初の(2)「若い力」と「盛岡市民歌」があります。そのページをめくると、

歌詞が書いてありますので、歌ってみましょう。「若い力」ですよ。どうぞよろしく願いいたします。

♪若い力と感激に 燃えよ若人胸を張れ 歓喜溢れるユニフォーム 肩にひとひら花が散る 花も輝け希望に満ちて 競え青春 強きもの
♪香る英気と純情に ひとみ明るいスポーツマン 僕の欲び君のもの 上がる凱歌に虹が立つ 情け身にしむ熱こそ命 競え青春 強きもの♪

はい、結構でございますね(拍手)。

この歌は、昭和22年にできました。国体のテーマ曲として創られたものです。国体は、今年で71回目。昭和21年からスタートしました。第2回の富山での国体のときに、この「若い力」という歌ができました。作詞の佐伯孝夫さんは有名なこの歌の作詞もしています(ピアノでメロディを弾く)。当時は、すごい作詞家でした。古い? 古いですね。作曲した高田信一さんは戦後最初のNHK交響楽団の指揮者で、当時はずっとも売れっ子の作曲家もやる先生でした。そのコンビで「若い力」ができました。私が言いたいのは、そのあと「盛岡市民歌」が盛岡市政60周年を記念して、昭和24年にできた。そのとき、「作曲家を誰にしよう」ということで当時、「若い力」で売っていた高田信一さんをお願いした。それで、盛岡市が都南村や玉山村と合併しても、盛岡市はこの市民歌を通した。今も、これが盛岡の市民歌です。他の市町村はみんな「合併したのだから、歌も変えましょう」と、花巻も由緒ある市民歌があったのですが、新しい市民歌を創りました。盛岡の市民歌、知ってますでしょ? 「え? 知らねえ」?

♪朝日射す 岩手の裾野 若駒の 声もさやかに 明けわたる 自由の光 ああ この土よ われらの都 盛岡は 盛岡は きょうも明けゆく♪

二番、三番は、どうぞおうちに帰って歌ってください(会場、笑い)。12時になると、盛岡の市庁舎は、分庁舎も合わせて、この曲が流れます。二番目のソロは私ですので、私の声を聴きたい人は、ぜひよろしく願いいたします(会場、笑い)。

それから次は、「岩手県民の歌」です。今、岩手国体が華やかに行われています。この歌は、昭和45年の岩手国体を契機に、昭和39年に創られました。そして昭和40年に初披露が県公会堂で行われました。そのとき、私は大学生だったんですが、初披露をさせていただきました。歌詞を創った田原耕二さんは、前沢に住んでいた歴史小説家です。歌詞に補作をして、中田喜

直さんが作曲した。中田喜直さんは、皆さんもご承知の通り、「夏の思い出」などを作曲した。江間章子さんとの関わりがとても深い。江間さんは旧西根町の出身です。その関わりの中で、中田さんが曲を創りました。皆さん、この歌を知っていますか？

♪しらくもの うかぶ はてまで はろばろと
蒼き国原 かぎりなき 未来をこめて 岩手
岩手 ふるさと岩手 とこしえに 若き大地よ
♪

初めて聴いた?! 残念です(会場、笑い)。

皆さん、秋田・山形の人と知り合ったときに「あなた、秋田の県民歌、歌えますか?」と聞けば、ほとんどの人が歌えます(会場、感嘆)。山形の人も「ああ、歌えるよ」と言います。長野の人なら完全に歌えます。「信濃の国」という歌ですが、県庁をどこに置くかという騒動が起こったとき、県庁前で大混乱があった。そのときに「信濃の国は…」という歌が始まり、その歌を歌う輪が広まった。それで「このまま県庁は長野に置こう」ということになった。それから、秋田の県民歌は、やはり国体を契機に新しく創ったんですけど、この歌を学校でちゃんと取り上げて、合唱曲として組曲「大いなる秋田」を創った。その組曲の最後に秋田の県民歌が出てくる。それをずっと学校で、あるいは市町村の音楽会で必ず歌う。それを始めたのが、私たちの年代。それを今でも続けている。毎年、県内3地区ぐらい、「今年はこちら」というので音楽会を開くのですが、この曲になると、会場の人たちはみんな立ち上がって、一斉に混声合唱となる。

それから、山形は「最上川」という県民歌ですが、これは昭和天皇が詠んだ歌を県民歌にしたんですね。とても格調の高い歌です。それで、岩手の人たちが集まったとき、「さあ、岩手の県民歌を歌いましょう」となったとき、ほとんどの人が歌えない(会場、笑い)。私も、それを少しでも何とかならないかと思っていますし、今はちょうど国体をやっていますから、これを契機に県民歌を知ってもらいたい。この間の開会式も、とても素晴らしい「岩手県民の歌」で、私も招待席にいましたが、いろいろなところから来た方々も「なかなか良い歌ですね」と言っていました。開会式のいろいろなパフォーマンスも良かったですけどね。皆さんもぜひ、機会がありましたら、ロータリーの歌も素晴らしいんですけど、県民歌や市民歌を思い出してください。こういう歌を大事にしていきたいものです。

蘇れ青春、さあ歌おう あの歌・この歌

懐かしい歌謡曲にいつてみたいと思います。会場にどういう年代がいるかによって、懐かしい歌は違いますけど(会場、笑い)。きっとみんなが歌えるでしょう。「青い山脈」。

♪若く明るい歌声に 雪崩は消える 花も咲く
青い山脈 雪割桜 空の果て 今日われらの
夢を呼ぶ♪

♪父も夢見た 母も見た 旅路の果ての その
はての 青い山脈 緑の谷へ 旅をゆく 若い
われらに 鐘が鳴る♪

知っている方は、どうぞ(高原列車は行く)。

♪汽車の窓から ハンケチ振れば 牧場の乙女
が 花束なげる 明るい青空 白樺林 山越え
谷越え はるばると ララララ…… 高原列車
は ラララララ 行くよ♪

資料の次のページをめくってください(岩手ゆかりの歌)。

♪匂い優しい 白百合の 濡れているよな あ
の瞳 思い出すのは 思い出すのは 北上河原
の 月の夜♪

次の歌はケイ線囲みに歌詞があります。

♪春まだ浅く 月若き 生命(いのち)の森の
夜の香に あこがれ出でて 我が魂(たま)の
夢むともなく 夢むれば さ霧の彼方 そのか
みの 希望(のぞみ)は遠くたゆたいぬ♪

はい。ということで、盛岡の街に流れているメロディです。サウンドスケープのひとつです。時間が来たので終わりにさせていただきます。

「とっておきの音楽祭 in もりおか」紹介

皆さんのお手元に、県民会館で明日、岩手芸術祭開幕フェスティバルが行われるご案内があります。私も、これに関わりながら手伝っています。それから、「イーハトーヴ とっておきの音楽祭もりおか」という資料もあります。これは、桜山神社とか、もりおか歴史文化館、ナナック前とか、岩手銀行の赤レンガ館の中とかで、障がいのある人もない人もいっしょにやろうというコンサートです。

「とっておきの音楽祭」となっていますが、もともとは「ベリー・スペシャル・アート」というアメリカで起こった動きなんです。それを

誰が言ったのかということ、ケネディ大統領でした。人種の問題など、さまざまな問題があるんだけど、みんな分け隔てなく、障がいがある人もない人も、人種が違う人も、ともに生きるというので、ベリー・スペシャル・アートを提唱した。それを受けて日本では、宮城での国体にあわせて第1回の障がい者スポーツ大会が開かれたときに、宮城県知事だった浅野さんが、「障がい者がいっしょになった音楽祭があってもいいんじゃないか」ということで、国体の予算を出して、いちばん賑やかな通りで、

第1回の「とっておきの音楽祭」を開いた。「ベリー・スペシャル・ミュージック・フェスティバル」の「ベリー・スペシャル」を「とっておき」と訳したのは、すごいですね。それが全国に広まり、「岩手でもやりましょう」となりました。10月16日にやりますので、協賛してくれている方もいますが、「こんな催しがある」ということで、ともに生きる喜びをみんなで分かち合っていきたいなあと思います。これからも、自分ができることをやっていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

例会報告

第12回例会 平成28年10月7日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 駒木 進会長
- ・国歌 君が代
- ・ソング 奉仕の理想
- ・ビジター 山口淑子さん(盛岡滝ノ沢RC)
- ・ゲスト 太田代政男様(岩手県合唱連盟 名誉会長)
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・皆出席バッチ 平野佳則君(7年)・西田直貴君(1年)・藤村吉隆君(2年)
- ・入会祝 村井研一郎・平野佳則君。
- ・誕生祝 榎崎憲二・佐々木恵明・大内 敦君。
- ・結婚祝 榎崎憲二・川村 登・吉田幸一・駒木 進・町 整・坂本 広行君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事

【ニコニコBOX】

- ◆佐藤重昭君…先週の例会で当家で開催されている「アートプロジェクト2016」のご案内をしたところ会員の皆様にもお越しをいただきましてありがとうございます。

マグダネラ・ソレ展は本日で終了。8～9日はお休みで10～12日はホセ・マリアシリア展となります。ホセさんは非常に難解な展示で我々日本人には「理解不能」な面もありますが、スペイン現代芸術の最高峰の方なのでぜひお時間がゆるせばお越し下さい。

- ◆齊藤和好君…新老人の会、岩手支部主催の講演会のお知らせ。(会長は聖路加国際病院名誉院長の日野原先生です) 10/19(水)18:00～着町恵ビル3Fにて(賢治青春館向かい)東北大名誉教授(内科)吉永馨先生による「高齢社会とボランティア」が催されます。会費は無料です。どうぞおいでください。

- ◆福井誠司君…太田代先生、元気のぞる卓話ありがとうございます。先生には家族ぐるみでお世話になり、また先生の奥様にも大変お世話になっておりますので、理屈抜きに喜んでニコニコします。

- ◆勝部民男君…太田代先生卓話ありがとうございます。我が社が設計・監理をしました土淵小・中学校の竣工式典で先生作曲の校歌を拝聴しました。とても悠然たる気持ちか寛(ひろ)くなる歌で、とても感銘しました。その時のことを思い出してニコニコします。
- ◆平井 滋君…太田代先生、期待通

りの卓話をありがとうございます。楽しい例会になったことにニコニコします。

- ◆平野佳則君…「ニッポンめんサミット in 盛岡2016」が、11月3日木曜日より11月6日日曜日まで開催されます。第1回目のニッポンめんサミットは30年前の昭和61年に開催され、「盛岡三大麺」が全国的に知られるきっかけとなりました。「ニッポンめんサミット in 盛岡2016」実行委員会の名誉会長は達増拓也氏、会長は谷藤裕明氏であり、盛岡ロータリークラブの特別名誉会員でもあります。盛岡の地域振興・観光産業の活性化のため、盛岡三大麺普及協議会の面々が告知活動に汗を流していらっしゃいますが、まだまだ情報の広がりがない状況のようです。チケットは、カワトク様はじめ県内の主要なプレイガイドと盛岡三大麺を提供する各店でも販売しております。盛岡ロータリークラブ会員の皆様にも告知活動にご尽力賜りますようお願い申し上げます。案内チラシは、各テーブルに配布させていただきました。平野も前売りチケット1枚千円を持参しておりますので、ご協力いただける方はお声掛けください。よろしく願い致します。

出席報告

■ 会員数 / 74 名 ■ 出席数 / 42 名 ■ 出席率 / 59.05% ■ 前々回 / 休会

プログラムの お知らせ

- ・ 10月 14日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- 20日(木) 秋の懇親会 (21日例会変更)
- 28日(金) 会友卓話 下山 寛 会友

- 本号編集担当 / 榎崎 憲二
- 次号編集担当 / 熊谷 隆司